

2019年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース/プログラム (広島)

1日目

[脳とリハビリテーション]

09:20- 認知の樹 (映像)

09:30-10:30 講義1) 行為と認知の神経科学 (奥埜)

- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
- ② 運動の意図・予測・イメージ
- ③ 運動学習、身体意識、多感覚統合

10:40-11:40 講義2) 片麻痺の病態と機能回復の神経学 (壹岐)

- ① 痙性麻痺と錐体路
- ② 機能解離と半球間抑制
- ③ 片麻痺の機能回復と神経可塑性

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50-12:50 講義3) 認知神経理論 (大島)

- ① 身体と環境の相互作用
- ② 認知過程からみた回復と学習の類似性
- ③ 発達と物理的・心理的道具

昼休み

13:50-14:50 講義4) 行為の機能システムと情報メカニズム(江草)

- ① 身体を情報の受容表面と捉える
- ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
- ③ 機能回復のための情報の構築

15:00-16:30 演習1) 病態分析と病態解釈 (加藤・全講師)

- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
- ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴(自発的・規定動作)、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
- ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

16:40-18:10 演習2) 認知問題と訓練の組織化 (壹岐・全講師)

- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
- ② 空間問題と接触問題
- ③ テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

2日目

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:20 演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本の手続きと実技

[Ⅰ] 上肢の機能システムと訓練の実際 (高梨・全講師)

[Ⅱ] 体幹の機能システムと訓練の実際 (小川・全講師)

[Ⅲ] 下肢の機能システムと訓練の実際 (佐々木・全講師)

昼休み

[脳のなかの訓練室]

13:10-14:00 講義5) 高次脳機能障害の病態解釈と回復の探求 (加藤)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
- ② 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
- ③ 右半球障害(半側空間無視)と左半球障害(失行症)の治療

14:10-14:50 講義6) 神経変性疾患の病態解釈と回復の探求 (奥埜)

- ① 神経変性疾患における行為の障害と病態解釈
- ② パーキンソン病(すくみ足)への治療仮説

14:50-15:30 講義7) 神経障害性疼痛の病態解釈と回復の探求 (江草)

- ① 身体障害性疼痛における身体知の障害と病態解釈
- ② 神経障害性疼痛への治療仮説

[身体化された認知]

15:40-16:30 講義8) 身体化された認知(embodied cognition)の回復を目指して(大島)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ～ルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

16:30- 認知の樹(映像)

終了_